

ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2023年9月6日時点)

▶ **ウクライナ軍**が南部及び東部の露軍に対する攻撃を強化する一方、**露軍**は、各正面において**防御戦闘を実施**するとともに、各地の**軍事・非軍事施設に対する攻撃を継続**している模様。

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: 死者約12万人、負傷者約18万人 (NYT8月18日)
: 死者約20万8,000人 (「ウ」軍東部作戦管区報道官6月3日)
「ウ」軍: 死者約7万人、負傷者約12万人 (NYT8月18日)
: 死傷者推定10万人以上 (クリストファーセン「ノ」軍参謀総長1月22日)
「ウ」市民: 死者9,369人以上、負傷者1万6,646人以上 (UNOCHA7月31日)

- ゼレンスキー大統領は、F-16戦闘機について、「我々は既に50-60機の航空機[の受領]を合意している」が、「**全部で160機は必要だ**」と発言(8月31日)
- 「ウ」国防相は、**F-16戦闘機**が早ければ**来春にも「ウ」上空での飛行を開始**する可能性があるとの発言(9月3日)

- 露国防省は、**モスクワ州**リュベルツィ地区上空に**無人機×1機**が飛来したものの、**防空システムにより撃墜**したと発表(9月1日)
- 露外務省は、「ウ」軍が**豪製の無人機**を用いて露領内への攻撃を行っているとの指摘(9月5日)

- エストニア国防軍情報センター長は、「ウ」軍がザポリヅジャ州**ロボチネ**正面の露軍**第1防衛線**の少なくとも**1か所を突破**、**ヴェルボベ西部に到達**したとし、**露軍はプスコフ空挺師団[第76空挺師団]のパフムト方面からの部隊の転用を余儀なくされている**との指摘(9月1日)
- 「ウ」軍南部作戦区報道官は、「ウ」軍が露軍第1防衛線を通過したことは大きな勝利であるが、**今後も困難が継続**することを覚悟していると発言(9月1日)
- 「ウ」軍准将は、「我々は**数週間に及ぶ地道な地雷除去作業**の結果、ザポリヅジャ方面で敵の**第1防衛ライン**を**決定的に突破**した」と発言(9月2日)
- ゼレンスキー大統領**は、ドネツク州**パフムト**近郊の「ウ」軍部隊の拠点を**訪問**、兵士らに勲章を授与(9月5日)



- 「ウ」軍は、**オデーサ州南部**の港湾施設に対し、**露軍「シャヘド」無人機×25機**による攻撃があり、「ウ」軍**防空部隊**がこのうち**22機**を撃墜したものの、**港湾インフラが損傷**し、**民間人2名が負傷**したと発表(9月3日)

- 主要都市(下線は州都)
- ☀ 露軍による攻撃が報じられた主な地点(接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- 👉 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- 👈 ウクライナ軍が奪還した地域

国土院標準地図を加工

資料源: ウクライナ政府機関ウェブサイト、ロシア大統領府ウェブサイト、ISW等